



## 行動経済学会ポスター報告奨励賞

(2023年12月9日・10日開催 第17回大会)

行動経済学会では2010年大会より、行動経済学研究の発展と若手研究者の育成・顕彰を目的として「行動経済学会奨励賞」を設け、さらに2017年大会より、ポスター報告も対象として「行動経済学会ポスター報告奨励賞（一般部門）」と「行動経済学会ポスター報告奨励賞（学部生部門）」を設けました。

一般部門13件と、学部生部門29件を厳正に審査した結果、今回は以下の通り、一般部門は、北代 絢大（東京大学大学院）、丹後 健人（横浜市立大学）、劉 奥（京都大学）、学部生部門は、竹内 和也（大阪大学）、西山 綾香（同志社大学）、山田 優樹（明治大学）、岡田 翔太（立命館大学）、奥田 悠介（大阪大学）、牧田 春花（福島大学）に決定しましたので、ご報告申し上げます。

学部生部門の授賞式は第17回大会で執り行われました。

なお、一般部門の授賞式は次期大会で執り行う予定です。

### 【行動経済学会ポスター報告奨励賞（一般部門）受賞者】

受賞者：北代 絢大（東京大学大学院）

報告論文：最後通牒ゲームの大規模言語モデルを用いたシミュレーション  
— 経済実験における新手法確立に向けて —

共著者：鶴崎 祐大，深澤 祐援，西野 成昭（東京大学大学院）

受賞者：丹後 健人（横浜市立大学）

報告論文：Inflation Expectations and Information Selection:  
Evidence from a Randomized Control Trial

共著者：菊池 淳一（一橋大学），中園 善行（横浜市立大学）

受賞者：劉 奥（京都大学）

報告論文：Peer Effects on COVID-19 Vaccine Uptake

共著者：三谷 羊平（京都大学）



## 【行動経済学会ポスター報告奨励賞（学部生部門）受賞者】

受賞者：竹内 和也（大阪大学）

報告論文：環境省政策メッセージの実証研究

共著者：秋田 航汰, 大竹 文雄, 奥田 悠介, 河合 求真, 菊地 友利奈,  
中山 一世, 萩原 志穂, 藤井 翔大, 藤井 淳平, 藤田 健史,  
村田 拓介, 山口 夏七葉, 山根 貴司（大阪大学）

受賞者：西山 綾香（同志社大学）

報告論文：AI（ChatGPT-4）、人間、及び人間とAIの共同作成によって  
生成された宣伝文に対する人々の満足度

共著者：中島 一実, 田中 葵, 本田 翔（同志社大学）

受賞者：山田 優樹（明治大学）

報告論文：限定合理的な人間像から見たバイアス盲点に関する一考察

受賞者：岡田 翔太（立命館大学）

報告論文：後悔後の行動変化にコミュニケーションが与える影響

共著者：林 昂汰, 深井 悠登, 中城 虹（立命館大学）

受賞者：奥田 悠介（大阪大学）

報告論文：禁煙プログラム参加に関するデフォルト効果の検証

共著者：朝倉 ほのか, 岩本 颯馬, 藤井 淳平, 村田 ななつ, 森 実輝,  
塚本 優太（大阪大学）

受賞者：牧田 春花（福島大学）

報告論文：WTP と WTA による曖昧さの分析